

2. AIでコロナの可能性を知る

2月からの流行から、9か月の間に様々な知見が集まりました。もう一度、主な病状の**ポイント**を整理します。

- ①ウイルスは空気感染、飛沫感染、接触感染の可能性があると(三密)
- ②微熱を含め、長引く発熱が多い。
- ③間質性肺炎になるので、セキが多く、痰が少なめなこと。
- ④全身のだるさなど、普通の風邪より体調不良が目立つこと。
- ⑤発症2日目から、ニオイがわからなかったり、変な味を覚えることがある。

症状も風邪やインフルエンザと紛らわしいため、どのようにこれらと区別するのが問題となります。簡単な問診だけでは難しく、症状の軽い人、症状の出ない人がいるため、検査をしなければ専門家であっても完全にコロナを診断したり違うと言いつけることはできません。そこで、AIを用いた問診表も出てきました。

1) ユビー <https://ubie.app/>

日本製のAI問診システムで一般に公開されているもの(リンク先)と、医療機関向けのものがあります。上記のサイトから、年齢、性別を入れると、コロナの可能性を探る方向と、他の疾患の症状を探る方向へ分かれます。コロナの可能性を探る方向へ入ると、主な症状の有無、簡単な行動歴を入力すること30秒程度で判定がでます。実際にやってみると、多くの場合で「新型コロナウイルスの症状があります。重症化の可能性もあります。」などと、表示されます。しかし、問口を広げてあるようで、どの程度可能性があるのかがわからず、ほとんどの人が可能性のあることになってしまい、残念ながら使えません。

2) Symptoma (海外アプリの日本語版)

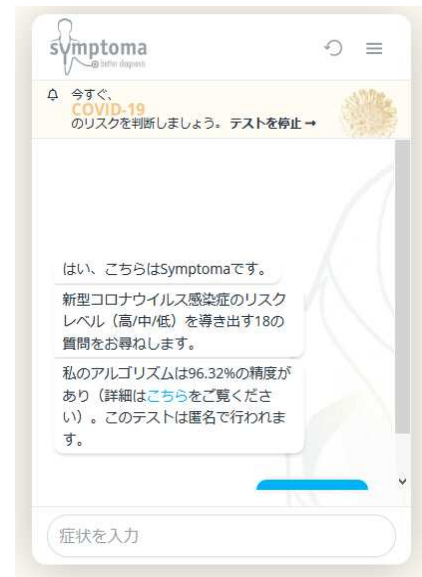
<https://www.symptoma.jp/>

自覚症状から様々な可能性のある疾患名を可能性の高いものからリストアップして

くれる、健康を支援するデジタルツール(アプリ)です。やや、翻訳がおかしいですが、日本語版(リンク先)もあるので、コロナの可能性があるかもと心配な方は試してみるのも良いでしょう。

「今すぐ、COVID-19のリスクを判断しましょう。テストを開始→」をクリックすると、「熱がありますか」から始まり、性別や年齢などを入れていくと、こちら30秒程度で新型コロナウイルス感染症のリスクが、低、中、高の3段階で示されます。可能性のある他の疾患も可能性の高い順に示されます。また、自分の持つ症状を順に記入すると、診断に有意義な質問が次々出て、これに答えていくパターンもあります。質問に答えていく途中でも、その回答まででコロナの可能性が高いのか低いのか、順次明示され、ユビーと比べて明らかによくなっていきます。これを見るとどのような症状が疑いが高いのか、逆に疑いの低い症状なのかがわかります。例えば、くしゃみなどは可能性の低い症状になります。

なお、どちらも判定の仕方を単純化するために時間的な順番や変化については一部を除いて質問されません。実際の間診ではこの辺りも重要なので、単純な問診に加えて時間軸を加えると、より一層診断精度が上がります。風邪やコロナ以外全ての疾患にも対応しているので、一度、使ってみましょう。



3. 空母の感染流行から学ぶこと

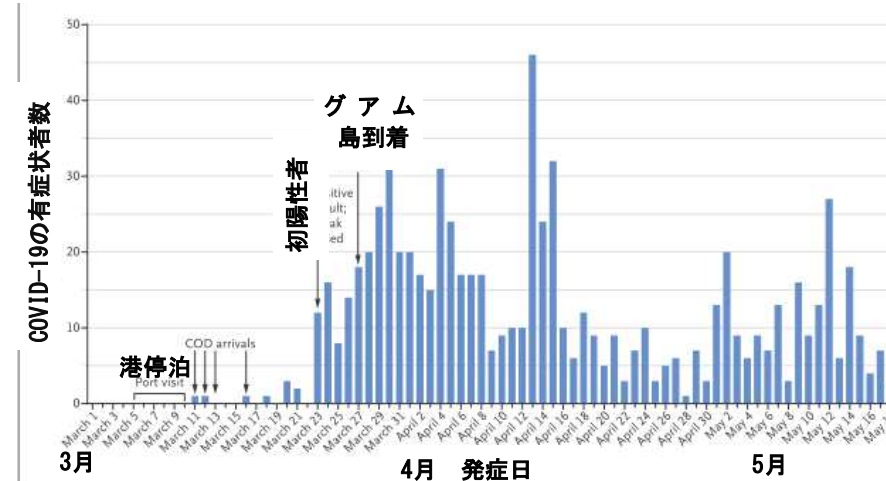
日本で新型コロナ騒動の最初を賑わしたのが、ダイヤモンドプリンセス号でした。それ以降あまり話題になりませんが、客船や、軍艦など大人数が乗船する大型の船についての発生事例なども出ています。次は米軍での出来事です。

空母での感染蔓延

3月~5月に起こった、空母テオドールズベルトでの集団感染の事例です。4779名の乗組員のうち、なんと1271名(26.6%)が感染しました。母集団は平均年齢が27歳と若く、55%の方が症状がありました。(45%は無症状)対象者は若かったため23人(1.7%)が入院し、4人(0.3%)が集中治療室に入り、1名(0.3%)が亡くなりました。初の陽性者が

出るおよそ2週間前に港を出て航海がはじまり、出航2~3日目よりすでに症状が出る人が出始めました。初陽性者が出てから4日目にグアム島の基地に着き、患者は入院し、濃厚接触者や無症候陽性者はホテルに隔離され、すべての人に毎日体温等健康チェックが行われるとともに広くPCR検査が行われました。しかし、グアム島到着後も5週間にわたって流行が続きました。これらの結果から、次のことが考えられます。

- ①窓の無い換気の悪い軍艦では感染が広がりやすい。
- ②陽性者・症状のある人、濃厚接触者の隔離だけでは流行は防げない。(普段から、症状の無い人も、個々人が個室で生活して、他と接触を避けるべき。)
- ③一度集団で流行が始まると、集団が解消されない限り簡単に流行は収まらない。
- ④若い集団でも、感染は広がる。などです。



コロナに慣れない

Go To トラベル、Go To イートなど、経済対策が始まったのに合わせて、流行の第3波が始まりました。世界的な大流行が始まり9か月が過ぎ、皆、COVID-19に対する知識、理解が進み当初のような恐怖感が減ったように感じます。しかし、病気の治療やワクチンなどの予防が今までのところあまり進んでおらず。重症化率や死亡率も変化なく、当初と何も変わっていません。コロナ慣れを起こさないように、再度確認しておきましょう。

- ①感染は人から人へ、飛沫や吐いた息に含まれる

ウイルスを吸い込んでおこる。(3密が危険)

- ②症状の出ない人、軽い人がいて目印になる症状が乏しい。
- ③発症2日前から、他の人にうつす。
- ④高齢者、合併症のある方は重症化しやすい。
- ⑤感染すると無症状でも2週間を無駄にする。

旅行や食事行くことがすべてダメではありませんが、コロナの本質を再度思い出して、どうしたら、感染しないで済むか考えて行動をしていきましょう。